

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 井原精機株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 715-0021 井原市上出部町431-3	
本票作成	部署名：総務部 人事総務グループ				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	自動車部品の製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	井原工場		井原市上出部町431-3	
	②	笠岡工場		笠岡市茂平1234	
	③	総社工場		総社市真壁1500	
	④	総社第二工場		総社市久代1920-2	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	17,220 t CO ₂	18,864 t CO ₂	16,359 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26)年度排出量
	①	井原工場	2,113 t CO ₂
	②	笠岡工場	10,025 t CO ₂
	③	総社工場	721 t CO ₂
	④	総社第二工場	6,004 t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(26) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 11.5 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製品出荷数 18,864t ÷ 32,792,099個=0.5753kg/個	原単位当たり排出量		
		基準年度	(26) 年度	目標年度
		0.5161 kg CO ₂ /(個)	0.5753 kgCO ₂ /(個)	0.4903 kgCO ₂ /(個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

高効率設備の導入、社員の省エネ意識啓蒙活動等を行っており、省エネ効果があることは短期で確認した場合確認できるが、昨今の「猛暑・厳冬」等作業環境への対策のため、空調機更新の際に高出力機の導入、暖房設備の増加等の対応を行っており、安定した効果が表れていない。また、生産状況の影響も大きく、2013年度以前は出荷数量が毎年約36,000千個前後であるのに対し、2014年度は約32,800千個と約1割減になっている。設備によっては止めることができない設備や固定部分のエネルギー消費もあるため、2014年度単年においても昨年比で原単位が悪化しており、結果的に年平均1%以上の改善に届いていない。

【推進体制】

各工場のエネルギー管理担当を中心に全社的な省エネ活動・教育計画・外部研修情報の収集等を行う事を目的とした省エネ推進委員会を毎月開催し、現状に則した取組みを行える体制を強化している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
井原工場 井原工場・笠岡工場・総社第二工場 総社第二工場	◆H26年度実施内容 屋根の二重化による遮熱対策 工場内照明の省エネ照明化 塗装工程の乾燥温度の低温化
総社工場・総社第二工場	工場の集約（総社工場→総社第二工場）
笠岡工場	◆今後の取組み予定 自家用発電機の再稼働によるピークカット
井原工場・笠岡工場・総社第二工場 笠岡工場・総社第二工場	エアリー漏れ調査・修理 油圧ポンプの自動停止化（新規設備導入時）

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--